

# 卒業おめでとう



自己の可能性は無限であると心得よ  
チャンスを待ってはならない 自らが創るものである  
自己の限界を簡単に考えてはならない  
絶望は 敗者の結論なのである

試練は 自分自身への糧であると心得よ  
艱難は汝を玉にするものである  
失敗を悔しがれ 決して許容してはならない  
しかし 失敗を恐れ歩みを躊躇してはならない  
失敗は人生の年輪でもあるからだ 年輪を重ね 逞しくなれ

嵐の日であっても 厚い雲の上には燦々と輝く太陽がある  
人生 幸せの絶頂の時もあれば 唇を噛む時もある  
風雪に耐えた桜は 春に美しい花を爛漫と咲かせるだろう  
厳しさに耐える力を得よ

君たちは 3年間「**情報**」と「**情誼**」と「**情熱**」を学んできた  
その学びは これからの人生で役立つことがあると確信して欲しい

本校を巣立つひとりひとりに心からエールを贈る

平成 30 年 3 月 1 日

新しい世界へ飛び立つ

どんなことに遭遇するかを教えてくれる者はだれひとりいない

教科書などはもちろんない

なにもかもがはじめてのことだ

なにがなんでもやりとげなくてはならない

そのことだけはよくわかっていた

細心の注意を払うのだ

落ち着くのだ

あせってはいけない

私は自分にそう言い聞かせた

アレクセイ・アルキポフヴィチ・レオーフ

ロシア連邦がソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）と称されていた1965年（昭和40年）に、宇宙飛行士として世界で初めて船外活動（宇宙遊泳）を行った人の言葉です。

ソ連の宇宙飛行士は、1960年に空軍から選抜された20名が最初で、あの有名なユーリイ・ガガーリンと共にこのアレクセイ・レオーフも選ばれたエリート集団です。全く未知の分野で厳しい訓練を課され、国家からの使命という重圧を感じながら挑戦した彼の手記なのですが、私はよく読み返します。

高等学校を巣立って、新しい環境で新しい生活をスタートさせる皆さんには、これからいくつかの試練が待ち受けている筈です。緊張感を持って全力で試練を乗り越えて欲しいと願っておりますし、それが皆さんには可能であると信じております。

道を切り拓くということは、本当に大変なことです。油断をしたり諦めたりすれば、得る結果は想像以上に厳しいものになるということをしっかりと覚悟しなければなりません。

皆さんには、潜在する力が無限にあるということを私は断言します。

精一杯取り組み、辛いほどの思いをすれば最高の歓喜が得られるものです。人生経験がわずかに長い私から皆さんへの、はなむけの言葉とします。しあわせになってください。（樋口）

